

## 「木曾町まちづくりアンケート調査」自由意見の整理

### まちづくりの方向性

都市住民の癒しの場となるまちづくり  
自然環境に配慮したまちづくり  
若い人が定住できるまちづくり  
木曾に住んでみたいと感じる魅力づくり  
何かの日本一を目指す(長寿、観光客への親切度等)  
隣近所での良い関係づくりから地域づくりへ  
若い人たちによるまちづくり  
公平なまちづくり  
新しいことに挑戦できる雰囲気  
少しでも人口の増える施策を  
都会から見てうらやましいと思えるまちづくり  
安全で自然豊かな、あたたかい、健全な町  
移住者等が、美しい自然環境の下で老後を豊かに暮らせる町  
水と緑と花。ゆったりと時間の流れる雰囲気の町  
一部の組織や町職員でなく、住民のためのまちづくりを  
感性の豊かな人が住んでいると評価される町  
自慢のふるさと・住みやすさ、人のあたたかさ一番・満足度NO1  
転入者等でも経験を生かし社会へ役立てるよう、働く場や趣味の場を  
若い人たちが計画したことを実行し、継続できるまちづくり  
社会的弱者が暮らしやすい町  
隣近所や子どもと挨拶が交わせる町  
他人の喜びを自分の喜びと感じるような人づくりを  
利便性より住みよいまちづくり  
観光客より住民が住みやすいまちづくり  
子どもや高齢者の住みよい町、子どもが帰ってきたい町  
団塊世代のターンを促進する  
若い世代のリーダーを。  
コンビニ等の無い、不便でも心豊かな町  
言いたいことの言える町。実現する町。  
良い町づくりは人づくり  
オープンなまちづくり  
お年寄りを大切に作る町  
もっと活気のある町  
「ずく」を出してまちづくりを  
バイオエネルギーへ取り組むべきである。  
明るい話題や挨拶で明るい町を

### 町の悪い所

ターン者に対する地域の差別(行政区へ入れてくれない・ゴミ)  
他県から来た人を差別する地域、人を変えて欲しい  
地区ごとに認め合わない地域柄  
「木曾人の常識は天下の非常識かもしれない」から出発を  
行政と住民がかけ離れている。区長会等を通じた連携を。  
生活するのに不便  
町が合併してから経済的に大変になった  
一生懸命生活するだけで精一杯なのが実態である。  
ゴミ袋が高い、モロイ  
物価が高く住みづらい  
なんでも木曾価格  
家賃や土地、食品やガソリン等全部高い。  
水道やガソリンが高い  
歩きながら食べ、ゴミを捨てる生徒が居る  
地域の人や役場職員の意地が悪い。隣近所の悪口ばかり飛び交う。  
交通の不便さがすべてのネックになっている。  
住みながら文句を言う住民「木曾が嫌いだ」と話す人がいる。

## 地域自治組織・地域コミュニティ

「ご近所」と「地区」が自治組織の車輪として機能するようにすること  
既存の分館、区との区別が明確でない  
会報等による情報公開が必要。発行物の内容を充実する。  
既存の組織との整理が必要。高齢化の中で住民負担が増えないように。  
小中学生を含め、住民一人ひとりが語り合える場を設定したい。  
節税と住民参加につなげる。奉仕活動と慈善・自主活動を混同しない。  
支所の住民とのつながりを密接に  
既存団体の代表者による組織になってしまい、住民代表になっていない。  
自治組織からの意見や陳情は尊重し、迅速に処理を。  
自治組織による地域自治を尊重するあまり、木曾町全体の一体感が共有できない  
一般の住民が、「自分たちが参加し、自分たちが頑張っているんだ。」と意識できる組織に。  
同じような団体が連携しないで活動している。あて職の人選で押し付けではいけない  
住民がみな知っている・参加する活動へ。  
団体等の役員に若者を登用し、住民意見を吸い上げる  
4地域の自立性と自意識を育てるよう役場の指導協力を  
無理に4地域をそろえず、個性を残した地域づくり  
それぞれの地域で具体的な計画(目標)を  
地域格差をなくし、すべての住民が「木曾町住民」といえるように  
住民の交流により、「木曾町」の一体感を  
旧4町村間人的交流の活性化  
各地域の特性を生かし、伝統行事を伝える  
公共施設等を中心地へ集中させないように  
施設の立地は、中心部である必要なし。多くの人が集まれるよう駐車場の有る施設を。  
4地域バランスの取れたサービスの受けられる施設整備を。(役場・公民館等)  
地域が持っていた品性を大切に守ること  
地域の住民が集え、コーヒー等で和める場所を。(展示等も)  
各地域が一体感を持てるように、施設割引券や木曾町利用ガイドブック等活用した交流を。  
各地区の施設相互利用等による交流のシステムを。  
老若男女、住民が一体感を持てる環境づくりを。  
権兵衛トンネルも開通したので、伊那地方と積極的な交流を。

## 地域間の均衡

福島地域中心でなく、全部の地域に平等な行政を。  
木曾町の隅々まで目の届く行政を。  
街並修景事業で、特定の地域のみ対象なのはおかしい。協定しにくい地区も有る。  
旧町村にこだわらず、全体を客観的に見たまちづくりを。  
支所と地域住民の活力を維持する方策を。  
旧町村部の平等にこだわらず、偏った振興策をとってもよいのでは。

## 行財政

町三役と住民との対話  
職員の危機意識が足りない  
職員が節約の意識を常に持つ  
役場職員に担当地域を持たせ、住民意見を吸い上げる。  
民間企業等への派遣研修等で職員の資質向上を  
職員(管理職)が町に出て住民理解を。  
職員を減らせ  
不正者は即辞めさせる  
職員採用に縁故の関係が無いように  
行政もコスト削減と意識改革を(住民の支援に徹し、自律を支える)  
人件費の見直しと抑制。余剰人員分の賃金カット。  
福島支所は廃止統合  
新庁舎も財政に見合ったものを  
小さな木曾町役場としてほしい  
税金の二重取りとはあきれた  
必要な事項、重要事項の整理ができていない  
利用者の立場で、交通・福祉等のアイデアを。  
財政運営理念を明らかにし、タイムスケジュール作成  
実質公債費比率を抑え、事業の選択に細心の注意を

財政状況もクリアに情報公開を  
人口(年齢構成等)の推移を踏まえた事業化・計画化と住民への情報公開を。  
ハードウェアを作って終わりではない。維持管理や運営等、常にソフトを。  
保育料値上げ等合併による住民への利点が無い  
補助金交付の事業が少なくなり残念。隔々の要望まで目を。  
本庁の行きにくさは天下一品である  
役場の窓口での対応改善  
振興公社の内容をもう一度確かめて  
支所の職員減のためか、住民へのサービスが悪くなっている  
本庁・支所間での連絡が足りず、手続きに手間取ることがある  
情報開示の意識向上が無い。個人情報保護は保護条例を。  
施設の補修等細かいことに目を向けて欲しい  
募金等行った結果や使途等の情報が無い  
事業1つでも情報公開と意見募集できるシステム(道路新設改良等)づくりを。  
該当地域だけの説明でなく、広く意見の出せる仕組み  
町で公共事業を増やして欲しい  
町は経済活動に関係する事業を行うべきではない。  
江戸時代からの歴史に学んだ100年後へ向けた計画づくり  
50年・100年先を見据えた計画が必要  
公共施設の終日禁煙。職務中の禁煙。

#### 広報・回覧

配られるものが多すぎ。カレンダー等利用し用紙節減を。  
回覧板で済ませられるものは回覧板で。  
広報誌の内容は科学的根拠を持って  
雑音が大きく聞き取れないことが有る  
発音が聞きづらい。内容を繰り返して欲しい。  
朝のサイレンで子どもが目覚ます。時間を繰り下げて。朝6時の時報メロディーをもっと繊細なものに。

#### 情報

木曾の自然と癒しの空間を活かし、通信網整備によりソフトウェア産業  
情報ネットワークの整備を  
ホームページへの町情報のオープンな開示。(アンケート結果も)  
ネットワークインフラの整備  
CATVで行政情報を流し、テレビで確認できるように。

#### 公共交通

日義地区のバスは、合併前に戻すべき。  
タクシー等含め、住民が公共交通を利用するような方策を。  
乗合タクシーは病院への都合が良いので、続けて欲しい。  
御嶽山方面のバスがないと、観光客が不便。  
利用者数にあわせ、大型でなく中型等で運行を。  
税金での負担が大きすぎる。適切な利用者負担を。  
町民に証明書を発行し、住民以外の利用者負担を見直してほしい。  
高齢化が進むと公共交通の利用者が増えるので続けて欲しい。  
高校生の帰りに合う時間のバスが無い。  
バスはなるべく集落内へ入ってほしい。

#### 住宅

住宅(公営・アパート等)建設してほしい。伊那方面等への通勤も視野に。  
住宅整備を、周辺地域重点に  
住む家が無い。空き家を貸さないため、過疎化が進む  
中心市街地の空家を活用  
若い夫婦のための住宅が不足している。あっても家賃が高い。

#### 交通安全

19号線の交通量・スピードが怖い  
交通事故の多さ(トラック街道)。19号のための空気の悪さ。  
知人がトラックの居眠り事故で家族を亡くした。  
19号線の通過する外部の車輛等へ課金しては。

## 防災

防災マップがどこにあるか分からない

子どもの安全や地域の安全に関わることは、屋内と戸外に放送して欲しい。  
消防や音楽隊へ町へのご協力を。

## 議会

将来を考え、協力して行く。住民の代表である議員は議論を重ねて欲しい

議会にもマンネリでなく新風を

議会の住民との接点を地域密着で。年間計画での行政懇談会。

## 葬祭・葬祭施設

高齢化が進む地域では葬儀での住民負担が大きい。セレモニーセンター整備を。  
安心して旅立てるように、葬儀場の整備をが必要。

## 子育て支援・少子化

若い男女の交流の場により、一組でも多く結婚できるように。

保育園の体制に納得できない。できないなら託児所を作って。

他県では、子どもの有る家庭への公共施設割引等サービスがあった。

子どもの可能性を伸ばしてやれる地域ではない。

旧町村単位で検診を行って欲しい。せめて1歳前の検診は近くで受けてたい。

他には出産祝い金が10万円の自治体もある。

出産費用も割高で不安である。

保育料低減等で、子育て世代への支援を。

子どもが遊べる公園が無い。道路に歩道も無い。

子どもを預かってくれる施設の設置を。

子どもが外で遊べる公園を設置して。松本などの市部には沢山あります。

子どもの遊べる公園施設の整備を。(開田下の原地区の公園は、施設等不便)

児童館の設置を。

高齢者支援より、子育て支援に集中すべき。

町全体で子育て支援を行える体制をとり、情報発信により転入者の増加を。

保育園の時間延長

学童保育の完全実施

## 高齢者福祉

シルバー人材の活用を

高齢であり、障害もあるので地域行事への参加できない

体力が衰え、自分のことで精一杯

高齢者の福祉を。介護者へ対する補助金等の支援を。

町民へ温泉施設の利用券を検討して欲しい。

敬老会名簿が廃止され淋しい

敬老会へ出席できなかった人へ、お菓子など配れないものか。招待者も検討して。

独身の一人暮らしは、高齢者だけでなく中高年への支援も。

高齢者の共同作業所で高齢者による活性化と生きがい対策を。

定年退職者が地域の中で活躍できるとよい。

週1~2回集まって囲碁・音楽等教えあう場所が欲しい。

## 障害者福祉

自閉症の子を持つ親として、グループホームの建設をお願いしたい。

障害者の就職への支援を。

## 保健・医療

木曽病院の皮膚科の待ち時間や診察内容が不満

木曽病院の休診が心配

病院が混んでいるし診療費が高い

木曽地域で専門医を増やして。

病気になる前に、自分の健康を増進する指導を行って欲しい。

木曽病院耳鼻科と皮膚科の診察日が少ない。平日は毎日診察を。

高齢者が病気になったとき居場所が欲しい。

木曽病院に脳外科を。

病院の数が少ない。

病院が一つしかなく、プライバシーの確保もできない。

山村の割りに充実したサービスがあるので、地域への呼びかけで大勢の参加を。

誰でも使えるトレーニングセンターに、トレーナーを配置して健康づくりを

## ボランティア

神戸阪神での経験に学び、町民のボランティアを盛んにする努力を。  
ボランティア預金の制度を導入したら。(除雪や草とり等)

## 農林業

開田等の農業者と福島地域の商業者と交流(農産物の使用とお互いのPR)  
鳥獣害の防止には、昔のように里山の草地化で。  
全部は無理でも、集落付近の間伐事業を。  
多年生の作物で木曾地域に合った作物を研究し、生産体制を整える。  
直販体制の整備  
どうせ山の中なのだから林業に力を入れる。山の達人の知識を得る。  
いのししや熊等鳥獣害への対策を早期に行なって欲しい。  
農産物等の体験観光を宣伝する。作業等を体験して食べてもらう。  
ハンターの必要経費に補助制度を創設し後継者育成を。  
電気柵等の補助事業では広範囲の被害に対応できない。  
アメリカシロヒトリの被害により、生活環境が悪化し悩んでいる。  
山間地域による農業振興に取組んで。  
農林業も、商業等と連携した振興を。町内旅館や食堂等への販売ルートを。  
以前のように、高原地域での草地化が必要では、植林や山地化で景観が悪化。  
林業にしっかり取組んで欲しい。第三の燃料として必ず必要になる。  
猫の駆除を。熊やイノシシは無駄に殺さない  
安全な農法と食生活の勉強会、安全農法農家への支援等。  
地場特産品として、各家庭の素朴な漬物等が販売できれば。  
自然の山を大切に、もっと山の手入れを。

## 観光

隣の王滝村と連携し、霊峰御嶽山を活用した宣伝誘客を。  
木曾全体で花木の植栽による花街道作りを。(国交省と連携し)  
木曾郡全体でのルート設定。(半日コース・1日コース・1泊コース等)  
観光以外に発展は望めない。ゴルフ場等で長期滞在型リゾートへ。  
スキー場の夏の利用を(グラススキー等)  
観光客が安心して散策できる遊歩道の整備を。  
旧中山道等の名称でなく、熊野古道にならば、古道中山道・古道飛騨街道として観光情報の発信を。古道の復興。  
スキー場へコスモス等植栽し、オフシーズンの活用を。  
キビオ峠の景観をもう少し整備したら。  
昔からの街並み等良い所を生かしたまちづくり  
山の恵みのおもてなし 民謡酒場等で訪問者への憩いの場を  
観光ばかり前面に出した行政は賛成できない。  
整備した施設の維持管理をきちんと行うように。  
無駄なところにお金を使わない。(足湯下の川とか)  
山の整備で森林浴の楽しめる場所を。(木曾駒高原にあるような森の小路を街中に)  
街並みの統一感を。  
エリア別のPR(開田・三岳 雄大な自然・高原・スキー・畜産)(福島・日義 文化と歴史・商業基盤)  
自然環境を活かし、都市住民を呼び寄せる自活村のような場所を。  
イベント等がその日限りとなってしまう、継続的に集客できない。  
ハードも必要だが従業者の意識向上が重要。  
町内の住民が、お互いの地域の良い物、所等を共通認識とする。  
もう一度町内の観光資源を洗いなおす。  
町外の人々の意見を聞く。  
食文化の向上を。  
お客様を大切に作る心構え  
お店の店員さんも元気で明るい接客を。  
特産品等の情報を共有(お互いを知る)  
高速バスの有る東京方面への積極的アピール。  
来訪者への声かけ運動を推進。  
自然環境を活かしたイベントやコンサート  
分かりやすい観光マップ、地域ごとのエリアマップ。

「木曽」ブランドの確立が大事

観光客が1日居てもあきない場所を造って欲しい。  
木曽福島地域だけでなく、日義地域等での観光にも目を向けて。  
日曜日に閉めている店舗が多い。  
住民が憩いと交流のできる公園が無い  
木曽町だけでなく、他の町村と木曽としての地域づくり  
木曽全体を考えたまちづくり。通過点でなく目的地へ。  
駅周辺が生活地・居住地となっている。駅前からの歩道整備で魅力創出を。  
どこでもイワナやヤマメが泳いでいるようなきれいな川と魚の町に。  
木曽に来ないと手に入らない食べ物や特産  
観光地づくりのため全国的にマーケットリサーチを  
ネットやメディアを活用したPRを。木曽を舞台とした連続テレビ小説等。  
木曽御嶽をバックに水車小屋やススキの有る「人間のふるさと」をモチーフにしたら。  
観光客の歩く歩道が少ない  
歩くのが大変・段差が多く歩道が少ない  
駐車場や道路の整備がいまいち  
駐車場が無いため、足湯前に路上駐車している。  
観光施設整備に見合った景観を。(街中等)  
都会の人の気持ちを知る。コンサルタント等の活用を。  
蕎麦屋しかない  
観光施設の整備は集中して行い、重複投資をしない。(他地域との競争である)  
大型バスの駐車場が少ない。大きな食堂が無い。  
町に大きな食堂が無い  
いまいち見所が分かりづらい。赤沢自然休養林のように自然豊かな場所を大切に。  
中心市街地への駐車場整備で歩けるまちづくり  
7月の福島祭り等、威厳を持って充実させてほしい。  
観光地なのにきれいでない。駐車場や相撲場前等雑草がいっぱい。  
盆踊りを活発に、2日間くらい子ども大人も皆が踊れる日を。  
文化公園や義仲館周辺へ花や花木の植栽を。  
ミニ公園のような商店街  
芝生の有る公園を整備し憩いの場を。  
そばのイメージなのに、おいしくないそばを出す店がある。  
観光施設の維持管理をしっかりと  
観光や活性かも金儲けにならないように  
良い温泉があるので、月1~2回位半額デー等作って住民の利用促進を。  
公共施設(トイレ等)の清掃が十分でない。  
イベントや祭りがマンネリ化。若者に活気が無い  
道の駅「日義木曽駒高原」周辺に温泉施設の整備を。  
御嶽山等山間部の開発はこれ以上進めない  
空家・空スペースの活用による起業の支援

企業誘致

若者の働く場所を確保すること  
企業誘致が必要重要課題である  
南木曽・大桑・上松等のような企業の誘致を  
公営企業(JRA)の誘致で働く場所の確保と町収入のアップを。  
既存産業の育成と企業誘致で雇用の確保を。  
観光よりも、企業誘致により若者を増やす施策を。  
バイオ燃料の研究、工場誘致、森林セラピー基地等による雇用の確保  
外資の導入。観光・工場等。  
独自の減税等による企業誘致  
働く環境を整え、企業誘致を  
知的研究企業等の誘致

## 商業・中心市街地

町中心部を活性化してほしい。道の拡幅と駐車場の整備を。  
町内の空き地への駐車場整備で、買い物の便利な町に。  
路上駐車対策で、空家・空き地の駐車場化を。歩くお年寄りが危険です。  
まちづくり会社の投資は回収できてるのか。  
駅前からの商店街に活気が無い。暖簾や看板の統一感を。(木の製品等)  
昔の街並みや松島亭とかとても良いと思う。  
個人商店が少なくなり、三岳地域では生鮮食品店が無い。町内での消費推進を。  
福島市街地の一方通行等や歩行者天国等の導入で買い物客への環境づくりを。  
大きな店が欲しい。福島の駐車場は観光客に分かりやすく。  
無料で使える駐車場を増やして。買い物がしづらいです。  
大型スーパーの誘致で住民の生活利便性向上を。  
木曽地域の商店では価格が高いため松本塩尻方面へ行ってしまう。  
国道沿いのコンビニ出店等による商店街の衰退が心配。  
飲み屋ばかり増えるより、若者が楽しめる場所(娯楽施設等)増やして。  
商店経営者の意識が低い。まちづくりは人づくりである。  
空き店舗を活用した活動による活性化を。  
夜遅くまでやっているドラッグストアや食事のできる店が欲しい。  
福島地域では土地が制約されているので、他地域へ観光や特産と連携した施設の整備を。  
街中に観光客が買いたいと思う店が無いと聞いた。  
サービス業従業者が無愛想である。  
街中の提灯が気持ち悪く怖いという意見を聞いた。(色や照度の研究を)  
空家や廃屋の対策を。町条例による保守義務化やシルバー人材による管理等。  
本町地区での駐車場整備を。

## 土地利用景観

地域の自然や農地を保全と住宅開発等を調整して、美しい自然を残して欲しい。  
景観を良くする為に、自治会や行政の人が町全体を見渡してチェックを。  
町のカラーを統一したら。  
木曽らしい街並みの形成を。

## 道路

19号の迂回路を  
19号1本では観光も住民生活も不便。早急にバイパス整備を。  
右岸道路をつなげて欲しい。  
国道はトラックが多く不安。生活道路を作ってください。  
冬場の除雪が不安。  
周辺部においても除雪等のサービスを維持して。  
若い人が除雪等に協力して欲しい。  
道路整備後のアフター対策(駐車場化してしまう)等をきちんと。  
開田に行く道路の改良を。(現在工事中ですが)

## 上下水道

水道料金が高い  
三岳地区の水道は雨が降ると濁りの混じることが有る。浄水場の整備を。  
全戸の上下水を見直して欲しい。下水道のない所がある。上水道が濁る。  
下水道の管理は町で行って欲しい。浄化槽の個人管理は大変である。

## 学校・教育

たくましい子どもの育成(自然キャンプ・体験農園・ホームステイ)。  
明るく挨拶する高校生が増えた。  
青少年のスポーツ育成を。  
子どもが安心して通学できる教育環境を。  
通学路の信号機の無い横断歩道等での安全確保を。  
通学の安全を確保して。道幅狭く交通量や速度が心配。  
道徳教育を重んじ、健全育成を。  
日義小学校のヘルメット着用は、町として継続なのか。継続なら教職員も着用を。  
旧町村学校間の交流を

## 社会教育・スポーツ

青少年のスポーツ育成に力を入れて欲しい。  
ジュニアスポーツ指導者の待遇改善で指導内容の向上を。  
スポーツ・文化サークルを待ちの主導から自主計画・運営へ。  
旧町村間で交流できる大運動会とか考えては。  
隠れた趣味や特技等を引き出し、サークル活動を通じた活気の有る町へ。  
田舎のよさを勉強する機会を。

## 図書館・美術館

大人も子どもも楽しめる図書館整備を。  
町に図書館が欲しい。  
内容も施設も充実した町立図書館の整備を。  
図書館一つ無くで文化的地域といえるでしょうか。  
旧営林局建物を活用した美術館整備。町民寄付等活用して、地元の芸術家等が発表できる場を作りたい。  
関所資料館の展示物や施設を拡充し、歴史の街、観光の核とする。

## アンケート調査について

ページがバラバラで書きづらい。  
アンケート結果の公表を。  
内容が難しいく長い。  
このような調査がちゃんと役立つのか。お金の無駄では。  
普段考えていないことについて聞かれても、書くことが困難であった。  
本当に知りたければ、地域へ出向いて意見を聞くべきである。

今回のアンケート調査発送にあたり、左綴りで綴るべきところそのまま発送してしまい、記入に当たって大変ご迷惑をおかけしました。

また、内容も多く項目に亘る細かなもので、記入が難しいことがあったかと存じますが、ご協力いただいた皆様には深く感謝申し上げます。

今後の総合計画策定へ向け、貴重な参考意見として活用させていただきます。